



令和6年4月1日

## 令和6年度福祉部の運営方針

福祉部長 玉井理加

令和6年を迎えるにあたり、市長より示された「施政方針（令和6年2月22日）」、「市政運営の基本方針（令和6年3月21日）」を踏まえ、以下のとおり福祉部の運営方針を策定した。

各所属長は、同基本方針及び本運営方針について理解を深め、各所属職員に周知するとともに、各施策・事業を着実に推進されたい。

### 1. 基本方針に基づく取組

#### (1) 新庁舎移転を契機とした業務の効率化

職員一人一人が新たな執務環境に合わせて働き方を見直し、行政サービスの一層の向上を図る。

①移転に向けて文書の電子化事業を遅延なく遂行し、回付文書、会議資料等のペーパーレス化を進め、紙資料等の徹底的な精査を行うこと。

②「国分寺市行政デジタル化推進計画」に基づき、デジタル技術を積極的に活用し、市民サービスの向上、業務の効率化を目指すこと。

#### (2) 安全・安心で強靱なまちづくりに向けた防災への取組

有事の際、関係機関と共に市民の生命と財産を守るため、自助力・共助力・公助力の強

化に向けた取組を推進すること。

①地域防災計画、BCP等の見直しにおいて総務部、健康部等関係部署と連携し、ハード・ソフト両面から市全体の防災力の向上に取り組むこと。

②避難行動要支援者登録制度、福祉関係事業所のBCP等が実効性ある取組となるよう、総務部、健康部等と連携し課題解決に向け取り組むとともに、市民、事業者へ適宜適切に情報提供、発信を行うこと。

### (3) 物価高騰等の影響を受ける市民生活への対応

市民生活、社会情勢などにアンテナを張り、今後起こりうる事態も想定しながら、今何が必要か、何を優先すべきかを考え、市民に寄り添いながら施策を推進すること。

①低所得者支援及び定額減税補足給付金にかかる施策を着実に実施すること。

②課税課等、庁内関係部署と連携し、市民へ丁寧な周知と対応に努めること。

## 2. 「国分寺市総合ビジョン」等を踏まえた対応

「国分寺市総合ビジョン」の最終年度にあたり、「国分寺市ビジョン後期実行計画」に位置付けた各施策の着実な実行、現在の社会情勢、市民生活の現状を的確に把握し「第2次国分寺市総合ビジョン」の策定に取り組むこと。

①全ての人が社会の一員として互いを尊重し、自分らしくいきいきと暮らせる地域共生社会の実現に向けて各個別計画等に位置付けられた事業を着実に推進すること。

②「第I期 国分寺市業務改革プロジェクト」の理念の下、各職員は業務の効率化、新たな行政サービスの創出を追求する意識改革と施策の推進に取り組むこと。

③持続可能な自治体であり続けるため、充実したサービスの提供と堅実な財政運営を同時に実現することを理解し、事業の「選択と集中」や新たな財源の確保に向けた視点を持ち、行政運営を「自分ごと」として捉え事務事業を執行すること。

### 3. 適正な事務執行の確保に向けた対応

①福祉行政に携わる公務員として、いかなる状況下においても、すべての人の尊厳を守り、人権を尊重することを意識した行動を取ることを。

②平常時より情報収集、的確な情報把握に努め、適宜関係者等と情報共有を行うこと。

緊急時においては、迅速かつ柔軟に対応し、必要に応じて部内での連携、庁内横断的な協力体制を取り、市民サービスの提供、行政としての責務を適切に果たすよう努めること。

③根拠法令等を確認、理解し、遵守した上で、適正な手続きと事業運営を行うこと。

また、漠然と前例踏襲することなく、必要に応じて例規等及び業務運営の見直しを検討し、市民サービスの向上と業務の効率化を図ること。

④市の諸課題を念頭に置き、常に社会情勢や地域の動きにアンテナを張りながら、市民生活への影響、業務運営の課題解決に向けて関係部署と情報共有を図り、スピード感を持って対応すること。

⑤事業の推進、具体的なケース対応等にあたっては、常に市民目線に立ち、市民に寄り添い取り組むこと。また、課、部内での連携、協力体制に努め、必要に応じて健康部、子ども家庭部など他の部署との情報共有、連携を図ること。

⑥報告・連絡・相談を適宜行うとともに、日常的に声を掛け合い、風通しのよい職場づくりに取り組むこと。また、組織として各施策の推進、判断、決定を行うことを常に意識すること。

⑦業務に関する情報は、ルールに則した適切な管理を行うこと。

特に個人情報の管理については、常に細心の注意を払い、判断、決定等においては組織として適切に運用すること。また、委託事業者、指定管理者に対しても、適宜指導・確認を行うこと。

⑧事業遂行においては、スピード感、スケジュール感を持って遅延なく業務を完遂できる

よう、適正・的確な進行管理を行うこと。

あわせて、市全体の信用失墜につながる事務執行上のミスを防ぐため、チーム内で重層的なチェック体制を構築し確実に取り組むこと。

⑨業務を効率的、効果的に推進することを全職員が意識し、特定の職員に業務が偏らないよう適切、かつ柔軟に業務分担を行い、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方を目指すこと。

⑩日常的に整理整頓に心掛け、安全で快適な執務環境を保持すること。また、新庁舎移転に向けた準備を進めるため、各課で早期に計画を立て、職員に共有すること。

#### 4. 職員の人材育成に向けた対応

①誠実かつ丁寧に職員と向き合い、その声に耳を傾けるとともに、積極的な提案、意見を促し、職員一人一人の能力が最大限に発揮され、成長につながるようマネジメントを行うこと。

②「国分寺市人材育成基本方針」を踏まえ、一歩先を見据えて自律的に行動できる職員の育成を行うこと。

また、「ハラスメントの防止等に関する指針」を周知徹底し、職員が互いを大切に、風通しが良い職場環境の維持に努めること。

③少子高齢化の進展、市民の価値観の多様化などの社会環境に変化に柔軟に対応するため、行政のデジタル化の推進に向けて、職員一人一人がデジタル技術を駆使できるよう、知識及び能力の向上に努めること。

#### 5. 令和6年度重点課題について

①誰もが尊重され、互いを支え合う共生社会の実現に向けて、各部、関係機関と連携し、各施策を効果的、着実に実施するためビジョンと見通しを持って進めること。

②「国分寺市地域福祉計画後期実行計画」、「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」、「第4次国分寺市障害福祉計画」等の各施策の進捗管理、市民ニーズの把握に努め着実に各事業を進めること。

③具体的な重点課題は別紙、「組織目標展開整理表」のとおり。